



# 名瀑「船尾滝」4年ぶり道路復旧 遊歩道やあずまやも整備

吉岡町 建設課、産業観光課

## ■ 吉岡町と船尾滝

吉岡町は群馬県のほぼ中央に位置し、榛名山の南東の山麓から利根川にかけて東西に長く展開している町です。そのため、標高が高く自然豊かな西部と商業施設が立ち並び開けた中部、上武国道や玉村渋川サイクリングロードがある利根川に面した東部とでエリアによって空気感が大きく異なります。このような立地から、東端にある「道の駅よしおか温泉」と西端にある「船尾滝」が玄関口としての役割を担っています。

特に船尾滝は、『滝周辺の地は毛奴の国(上毛野国)開きのころ、神の宮居として神地と呼び、諸人入るべからずで不入と書き「ふにゆう」といった不入山、不入滝はいつか船尾山、船尾滝と書かれるようになった』(吉岡村誌より)というように歴史的にも所縁のある土地です。この船尾滝ですが、実は、平成28年の土砂災害により今年の3月まで立入禁止だったため本当に不入の滝として幻になってしまいました。



吉岡町と西の玄関口「船尾滝」

## ■ 船尾滝の整備内容

土砂災害の復旧とあわせて、群馬県による整備や千客万来支援事業補助金の活用により遊歩道を新しく整備することができました。

遊歩道は船尾滝から流れ出た滝沢川に沿った道となっています。道中点在する急勾配には負荷なく散策できるよう木製の手すり付き階段が設置され、従来の林道部と交差する箇所には来訪者がコースを区別できるような矢印看板があります。他にも船尾滝周辺のベンチや東屋を補修することで、来訪者が滝や川の水音に癒されながら疲れた足を休めることができるようになっています。



秋の船尾滝



整備された遊歩道と船尾滝

## ■ 船尾滝活用の可能性

この群馬県の中央部で自然体験ができる船尾滝を舞台にイベント開催を予定していました。隣接する榛東村と合同で、参加者が船尾滝を出発し日頃開放しない林道湯出入線を進み榛東村の創造の森で大自然の下でヨガを行うといった内容となっていました。このイベントは新型コロナウイルス感染症対策の観点から、外出自粛が求められていた4月開催を予定していたため延期としましたが、街中から近い自然というテーマを広域的にとらえる可能性を見いだせたのではないのでしょうか。

## ■ 船尾滝を活用した吉岡町の在り方

素材としての潜在的価値やイベント造成による素材価値の向上を秘めた西の玄関口「船尾滝」には、吉岡町の商業施設や飲食店の多い中部へ来訪者を誘導する拠点としての役割を担える可能性があると考えます。船尾滝が渋川市の伊香保エリアと隣接しているという立地性やそのもののポテンシャル、活用の可能性を踏まえ、船尾滝から吉岡町の情報発信することで西の玄関口としての「船尾滝」をイメージできるのではないのでしょうか。

変わりゆく吉岡町を目撃するためにも、ぜひ、船尾滝のある吉岡町へお立ち寄りください。

船尾滝遊歩道▶

